

ふくふくまつりの次は、デフリンピック！

10月4日(土)2025ふくふくまつりが開催されました。サークルではろう協の手話体験教室のお手伝いをしました。11月開幕のデフリンピック2025東京(11月15日(土)～11月26日(水))をPRできる絶好のチャンスです。壁には「デフリンピックについて」(福手の会作成)の展示と公式ポスター。タブレットでは「しゅわしゅわデフリンピック♪」のダンス動画を連続再生し、チラシにはデフリンピックのホームページにつながるQRコードを紹介しました。

小学生から大人までたくさんの方が参加され、あいさつとご自身の名前などをろう者と手話はなくてもあらゆる手段で楽しく学んでお話をしていました。以前は「手話体験していきませんか?」と呼びかけても、顔の前で手を振って「いえいえ、私は…」と帰っていく人が多かったですが、ここ最近「教えてくださ～い」と気軽に部屋に入ってくる人が増えたように感じました。うれしいですね。

参加者に「デフリンピックを知っていますか?」と聞くと小学生は「はい、知ってま～す」、一方、大人の認知度ほぼゼロ。TVでの放送も少ないですし、もっとあらゆるメディアで取り上げてほしいと思いました。もう40日を切りましたが、まだ間に合うはずです。

そこで、参加賞のデフリンピックのマスコットキャラクター「ゆりーと」のシールを渡すときに改めてPRをしました。みなさんにかわいい「ゆりーと」と共にデフリンピックを覚えてくれたと思います。

さて、デフリンピック開催直前の11月11日(火)には、「デフリンピックキャラバンカー」が福生にやってきます。みんなで市役所へ応援しに行きましょう♪(五十嵐 陽子)

https://www.tokyoforward2025.metro.tokyo.lg.jp/news240213_t/

<https://www.jfd.or.jp/caravan2025/img/caravan2025-poster.webp>

2025年10・11月の予定

10月16日(木) 10:00～11:30 福祉センター2階作業療法室

10月23日(木) **お休みです**

10月30日(木) 10:00～11:00 福祉センター2階作業療法室

11月6日(木) 10:00～11:30 福祉センター2階作業療法室

11月13日(木) 20日(木)はデフリンピック期間中につきお休み

11月27日(木) 10:00～11:00 地下研修室

お問い合わせ shuwamomiji30@yahoo.co.jp

デフリンピック 観戦予定

11月18日(火)

デフ陸上競技観戦ツアー

11月20日(木)

デフ・ボウリング

観戦ツアー

会員より

今日も楽しく

岩戸 五郎

我が家の近くに日本語学校がある。東南アジアを中心に様々なお国の方々が通っている。昨年5月から、当時の町会長と親しくしていた校長が話し合い「日本語サロン」が月1回のペースで行われている。

町内の有志と留学生が車座になって行う国際交流会で、留学生は教科書にない生の日本語に接し、有志達はいかに解って貰うかと「易しい日本語」を探すためとても頭を使う。1時間足らずの時間だが、外国の若者との時間は最高だ。

今回、4月に来たというミャンマーの方たちと話したが、日本語がとても上手。

日本の文化体験として、カルタ、双六、独楽回し、あやとり等々の体験会もした。

秋のフェスティバルでは、各国の民族衣装や料理、踊りや遊びの紹介もあった。

国際交流の一端を楽しんでいます。

新連載 嵐之転倒騒動顛末記 その二

3日後の手術が決まった。たくさんの書類を渡され、手術の内容の説明もされたのかもしれないがはっきり覚えていない。というかそれしか方法はないんでしょ？ 転んだ私がいけないのだからどうぞよろしくお願いしますって思っていた。

帰りがけに医者から「とにかく足は地面につけないで。手術まで入院する？」と聞かれ、「結構です」とお断りしたら、「じゃー、これを」と手渡されたのが松葉杖。見たことはあるけれど、自分で使ったことは…？ そういえばはるか昔、酔っぱらって転んで反対の足を骨折した時使ったな～。とはいえ、実際にわきの下に松葉杖を入れて歩き出そうとすると、おっとっと…とつまづきそうで前に進まない。看護師さんが「あなた、ダメな人？」とぽつり。それでもお手本を見せてくれ、真似してどうにかこうにか前進できるようになった。つまりは振り子のように体を揺らせばいいのだ。ただ、とっても疲れるし、目立つし、いやだなと心の中でぐちった。そしてしょぼんとタクシーで帰宅した。

普段、自家用車で行き来している距離のタクシー料金はびっくりするほど高かった。田舎にいる母に「出かける時はタクシーで」と言っているのになぜ自転車で出かけてしまうのかようやくわかった気がした。

2025年10月4日（土）

楽しかった！ふくふくまつり

手話体験コーナー



体験に来られる中には手話を少し覚えている方も割といて、とても楽しそうに手話を使っていて、私も嬉しく、楽しい時間でした。



手話体験で始めて小学生の通訳をしました。ろう者が考えている様に伝える難しさを学びました。



体験に参加された皆さんが手話に興味を持たれたきっかけはそれぞれでしたが、ろう者と手話でコミュニケーションが取れるようになりたい。仲良くなりたいと凄く熱心に質問もいっぱいされていてこちらが勉強になりました。

庭の千草

神田玲子

今日は九月二十九日、夕方は涼しい風が吹くようになったのですが、日中の気温は三十・九度でした。少し歩いただけで汗が噴き出てきます。熱中症予防情報も出ていました。どれでも地球沸騰と呼ばれた以上高温の夏も、少しずつ秋めいてきています。

我が家でも、白い彼岸花（リコリス）が一輪咲きました。そして愛らしいピンク色の秋海棠（シユウカイドウ）の花が俯き加減に咲いています。濃い紫色の西洋朝顔や、おしろい花もおしまいになり、カクトラノオが地下茎で増え、何本も咲きました。赤紫蘇の葉や実は、ジュースや漬物にできます。雨の後には、茗荷が沢山取れたので、梅酢に漬けました。ゴーヤは、緑のカーテンとして毎年育てます。今年はプランターではなく、肥料や腐葉土を混ぜ、深く掘って地植えにしたところ、繁茂し二階のベランダまで届きました。そして実は千成り状態で、毎日収穫でき、黄色く熟したものはジャムにしました。

百日草は、今年初めて鉢で買い求めたのですが、この暑さでも元気に咲き誇り、仏花として重宝しています。いろも、白、黄色、ピンク、赤、橙と沢山あります。花期は長く、春、夏、秋と咲いています。色も形も、バラのように華やかではありませんが、とても野趣があります。洋名はジニア、花言葉は「別れた友への思い」。これは連想できませんが、何か寂しげな感があります。

我が家には、ヨモギ、ドクダミなども生えています。これらは有用な薬用植物なので、利用してみたいです。ドクダミローションは湿疹のかゆみにはよく効くのでいつも使っています。私の勤めていた、聴覚障害者の施設の利用者がドクダミを育て、乾燥させてからに出してアルコールと混ぜ、ビン詰めにして売っています。一本七百円で、私はいつも取り寄せています。



百日草



曲がり竹
ユウガギク
初雪葛

ユニバーサル・チャットボード (指差しコミュニケーションツール)



ユニバーサル・チャットボードは、アイコンを指差しコミュニケーションを図るためのボードで、きこえる・きこえない、または使用する言語の異なる人同士でも、かんたん・迅速に意思疎通を図ることができるツールです。

誰もが、誰とでも（ユニバーサル）、気軽にコミュニケーションを楽しんでほしい（チャット）という思いを込めて、“ユニバーサル・チャットボード”と名付けられました。

大会期間中だけでなく、様々なシチュエーションで活用いただける便利なアイコンを掲載しています。コミュニケーションの入り口として、ぜひ様々な機会でご活用ください！

制作：東京都／公益財団法人東京都スポーツ文化事業団／東京都聴覚障害者連盟



A4 版 ユニバーサル・チャットボードダウンロードはこちら（PDF：3.0MB）

東京2025デフリンピックホームページより